

毎日使って  
すくすく育て  
すくすくギフト

本年度、デザイン一新

町内で誕生した赤ちゃんに、オケクラフトのオリジナル食器セットを贈る事業「すくすくギフト」は、オケクラフト30周年記念事業として平成25年度にスタートし、これまでに83人に贈られました。

地域福祉センターで、8月22日に平成29年度第1回目の「すくすくギフト」贈呈式が行われ、生後100日のお食い初めに合わせ、4月から7月に生まれた男女2人の赤ちゃんに、平野教育長からオケクラフト食器セットが贈られました。



木のまちの伝統を感じます。お食い初めに使いたいですね（結城有一さん）

2歳の長男も使っていて、とても使いやすいです（太田里絵さん）

立派でかわいい食器をいただき、嬉しいです。単体でも使えますね（結城なつみさん）

食器セットを製作する作り手と食器セットの内容は2年ごとに変更しており、今回のモデルは3代目。今春独立した3人を含む5人の作り手が試行錯誤を重ね、あつらえました。セットの内容は、エゾマツやサクラを使った飯椀、汁椀、皿、カップ、スプーン、トレーの6種類です。

離乳食からはじまり、毎日触れることになる食器は、子どもの成長に大切なものです。子どもたちのために作られた木の器が、日々の暮らしのなかで、じっくりと手になじみ、子どもたちの一生の宝となってほしい…すくすくギフトには、このような願いが込められています。

※お食い初めとは？

赤ちゃんが「一生食べ物に困らないように」との願いを込めて行う日本の伝統的な儀式で、生後100日、110日、120日頃の吉日に行います。



デザインを一新「すくすくギフト」



- |     |      |                  |
|-----|------|------------------|
| 作り手 | 飯 椀  | wood+（嶋谷裕明）      |
|     | 汁 椀  | wood+（嶋谷裕明）      |
|     | トレイ  | 工房夕花野（高田純枝）      |
|     | 皿    | Kinoca（長谷川香奈）    |
|     | カップ  | 木工房ICHIGO（松本佳悟）  |
|     | スプーン | クラフト工房KOCHI（石川順） |